日本劇作家協会プログラム

2019年5月11日(土)～19日(日)
座・高円寺1

提携○NPO法人劇場創造ネットワーク／座・高円寺
後援○杉並区

座・高円寺1
TEL.03-3223-7500
〒166-0002 杉並区高円寺北2-1-2
JR中央線「高円寺駅」北口徒歩5分
※土・日の中央線快速は「高円寺駅」に停車しませんのでご注意ください。

下記のサービスは劇場で承ります。
お申込み・お問合せは、座・高円寺チケットボックス(TEL.03-3223-7300)まで。
❖車椅子スペースのご利用(定員あり。前日までにお申込みください)
❖障がい者手帳をお持ちの方の割引き(座・高円寺チケットボックスでのご予約に限り1割引き)
❖託児サービス～料金1,000円(1歳～未就学児対象。定員あり。1週間前までに要予約)
実施日時はタイムテーブルをご覧ください。

2019年6月14日(金)
千葉市美浜文化ホール メインホール

主催○千葉市美浜文化ホール(指定管理者ちばアートウインド運営企業体)／扉座

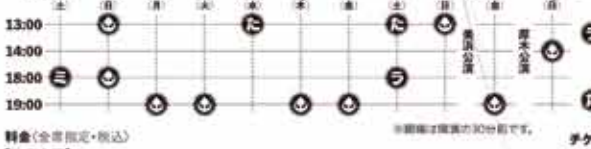
千葉市美浜文化ホール
TEL.043-270-5619
〒261-0011 千葉県美浜区真砂5-15-2
JR京葉線「稲毛海岸駅」北口より徒歩8分
JR総武線「新検見川駅」南口よりバス10分
「美浜区役所」下車徒歩1分

厚木シアタープロジェクト第31回公演

2019年6月16(日)
厚木市文化会館 大ホール

主催○(公財)厚木市文化振興財団／扉座
応援○厚木シアタープロジェクト市民応援団体

厚木市文化会館 大ホール
TEL.046-225-2588
〒243-0032 神奈川県厚木市恵名1-9-20
小田急線「本厚木駅」下車徒歩12分



※開場は開演の30分前です。

料金(全席指定・税込)
【東京公演】
前売券・当日券共**4500**円／学生券**3000**円(劇座でのみ取り扱い。当日学生証要持参)
※座・高円寺の劇場回数券「ちからだ」もご利用いただけます。
【美浜公演】
前売券**4200**円／当日券**4500**円
25歳以下の学生**2000**円(取り扱い：劇座・美浜文化ホール・若葉文化ホール。当日学生証要持参)
【厚木公演】
前売券**4200**円／当日券**4500**円／25歳以下の学生無料(要申込み)

6月16日(日)14:00の回 厚木ドリームシート[U-25]25才以下無料!
少しでも多くの若者に演劇に触れてもらいたいという願いを込め、
生の舞台を観たことのない多くの若者のために、そして、
本公演の大ホール進出を祝して25才以下の観客を無料招待!
厚木ドリームシート
❖25才以下対象 ❖電話予約 ❖公演当日、身分証明書(学生証or保証書)持参
❖1席の指定、希望はお受けできません。あらかじめご了承ください。
【お申込方法】
劇団公演ホームページ http://www.tobiraza.co.jp/ 4月16日(土)12:00～
厚木市文化会館チケット予約センター046-224-9999(4月6日(土)～)
※1度の3席申込みでも結構です(9名様以上の団体のお申込みは厚木までご相談ください)
※未就学のお子様はご入場いただけません。

ごあいさつ ……横内謙介

十年ぶりの再演にあたって、キャストと演出を一部変えて、扉座の財産に更なる命を吹き込みます。

昨今マンガ作品やゲームを舞台化した2.5次元舞台が大流行です。マンガやゲームのキャラクターがそのままステージに飛び出して来るような美しさと楽しさに溢れています。でも私たちの舞台は、このブームが来る前に創ったものです。そして考え方が違います。

その昔「ブラック・ジャック」が実写化されたことがあります。手塚治虫先生がご存命だった頃です。主人公ブラック・ジャックが、原作の絵に似せて特殊メーク等で造形されていました。それを見られた手塚先生が「こんな顔の人間がこの世にいるか！」と怒られたと言うのです。私はマンガだからこのように描いている。映画にするなら、映画としての描き方があるはずだろう、と。

私は今まで手塚原作の舞台脚本を『百鬼丸』含めて5本ほど書いて来ましたが、いつも心にその言葉を刻み付けて仕事に臨みました。"芝居でないと描けない描き方で書くのだ！"と。タイトルにもなっている日本の伝統芸術・浄瑠璃を取り入れたのも、そのアプローチの一つです。

先入観なしで観たら、昭和の人気アニメでもあった手塚治虫の『どろろ』だとは気付かない人もいるかもしれない。しかし、そこに描かれていることは、まぎれもなく我が国を代表する物語作家・手塚治虫さんが紡いだ物語である。それが肝です。

十五年前の初演作ですが、ハーの発達によって、頭脳と肉体が更に切り離されて、バラバラにされてゆく今の時代。魔物に奪われたカラダを取り戻そうとして格闘する、百鬼丸の物語はますます人の心に響くものとなると思います。

これは未来へ届けるべき、普遍の物語です。

新浄瑠璃 百鬼丸
しんじょうるり ひゃっきまる
～手塚治虫『どろろ』より～

【あらすじ】
野心に燃える戦国武将・醍醐景光は、天下盗りのために生まれてくる我が子の肉体の四十八ヶ所を魔物たちに与える取引をする。四十八ヶ所を失って生まれた赤子(百鬼丸)は川に流されながらも生き抜き、運命的に出会ったコソ泥の男(どろろ)を供とし、奪われた肉体を取り戻すために魔物を倒す旅に出る。

【解説文】
手塚治虫作品の舞台化で話題作を残して来た横内謙介(※注1)が、
2004年初めて劇団公演として手塚作品に取り組み、好評を博した「新浄瑠璃 百鬼丸」。
熱烈な再演希望の声に応えて2009年再演。
少年向けコミックとして描かれた「どろろ」(※注2)を、歌舞伎義太夫の第一人者・竹本葵太夫丈の協力の下、
神話的な語り物＝浄瑠璃として再構成したこの作品は、原作とは細部のストーリーが違っていますが、
浦沢直樹氏の「PLUTO」(※注3)と同じく手塚作品を深く敬愛しつつ、
新たな可能性を示した作品として、手塚ファンからも圧倒的な支持を得ました。
特に、魔物に肉体を奪われて生まれてきた百鬼丸を、二人の黒衣(百鬼丸の声と影)として表現する演出は、
精神と肉体の相克をテーマとして追求した手塚治虫の魂を鮮烈に形象化したと評価されました。
10年ぶりの再演にあたり、装い新たに決定版としてお届けいたします。

(※注1) 横内謙介が脚本を担当した、手塚治虫作品の舞台化。
「リボンの騎士～誕生篇 長谷川義史劇場創世記～」銀座セゾン劇場
('96.11-12／演出：河毛俊作／主演：井ノ原快彦(V6)、一色紗英 鈴木蘭々)→2018年劇団公演として上演
「陽だまりの根」銀座セゾン劇場('92.7,'95.6,'98.6-7／演出：杉田成道／主演：中井貴一)
NINAGAWA「火の鳥」さいたまスーパーアリーナ('00.11／演出：蜷川幸雄)
ミュージカル「アトム」('10.4～'13.3／脚本・作詞・演出／わらび座公演 全国ツアー有)
(※注2) '67.8.27-'68.7.22「週刊少年サンデー」(小学館)連載。
体の48箇所を魔物に奪われた百鬼丸が、魔物退治の旅を続ける怪奇マンガ。
戦国時代を舞台として、伝説や説話に出てくるような妖怪が次々と登場。
百鬼丸は自分の体を取り返す旅の途中、どろろというドロボウの少年と知り合い、
一緒に旅をするようになる。
連載は未完のまま中断されたが、テレビアニメ('69)の放映に合わせて、
月刊雑誌「冒険王」に第2部が連載され、完結。
身分の高い主人公が幼くして故郷を離れ、数々の冒険をものりこえて英雄になるという、
貴種流離譚(きしゅりゅうりたん)の一面も持つ。
(※注3) '03～'09 小学館「ビッグコミックオリジナル」にて連載。
原作は、手塚治虫「鉄腕アトム」の2エピソードの「地上最大のロボット」。
第9回(2005年度)文化庁メディア芸術祭マンガ部門 優秀賞。
第9回(2005年)手塚治虫文化賞 マンガ大賞。
第41回(2010年)星雲賞マンガ部門 コミック部門。
2011年国際アングレーム漫画祭インターナショナルセレクション賞を受賞している。

『どろろの四十八魔を数えて同じ四十八赤子が言葉知り如 生れたる手足 目鼻口 ニコリと取り戻 被い清めや父が罪 お懐かしやの母上様』

手塚治虫生誕90周年
記念公演

キャスト

岡森諦

中原三千代

伴美奈子

山中崇史

犬飼淳治

新原武

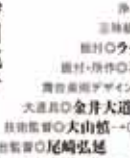
鈴木利典

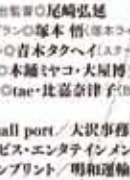
上原健太

鈴木里沙

高木トモユキ

藤田直美


砂田桃子


北村由海

松原海児

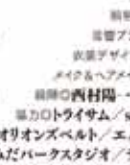
野田翔太

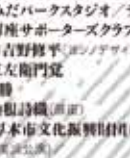
早川佳祐

白金翔太

三浦修平

小笠原彩


小川蓮


紺崎真紀

山川大貴

吉田美佳子

スタッフ
脚本・演出○横内謙介
原作○手塚治虫
制作協力○手塚プロダクション
浄瑠璃作曲・指導○竹本葵太夫
三味線演奏○鶴澤慎治
照明○ラッキィ池田・彩本エリ(イカキック)
音響・効果○花柳輔蔵
舞台美術デザイン○金井勇一郎(金井大道具)
大道具○金井大道具
技術監督○大山恒一(プレイグステップ)
舞台監督○尾崎弘延
照明プラン○塚本 悟(塚本コイティングデザイン)
音響プラン○青木タクヘイ(スタッジオフィス)
衣装デザイン○本藤ミヤコ・大屋博美(アルドムアラニ)
メイク&ヘアメイク○tae・比嘉奈津子(Be-STAFF MAKE-UP UNIVERSAL)
殺陣○西村陽一
協力○トライサム／small port／大沢事務所／ころぼっくすふろじぇくと／
オリオンズベルト／エルビス・エンタテインメント
すみだパークスタジオ／テンプリント／明和運輸
厚木扉座サポーターズクラブ(厚木公演)
宣伝美術○吉野修平(ボンノデザインオフィス)
並木○小林三左衛門覚
舞台写真○宮内勝
音響○大原朱音・山根詩織(劇座)
制作○公益財団法人厚木市文化振興財団(厚木公演)／
千葉市美浜文化ホール(美浜公演)
赤星明光・田中信也(劇座)
制作○千葉市美浜文化ホール(美浜公演)／扉座

前売開始日
3月31日(日)
厚木公演のみ
4月6日(土)

舞台撮影○扉座サテライト×すみだパークスタジオ演劇部

扉座
劇団扉座
第64回公演

劇団扉座facebookはこちら
http://www.facebook.com/tobiraza